



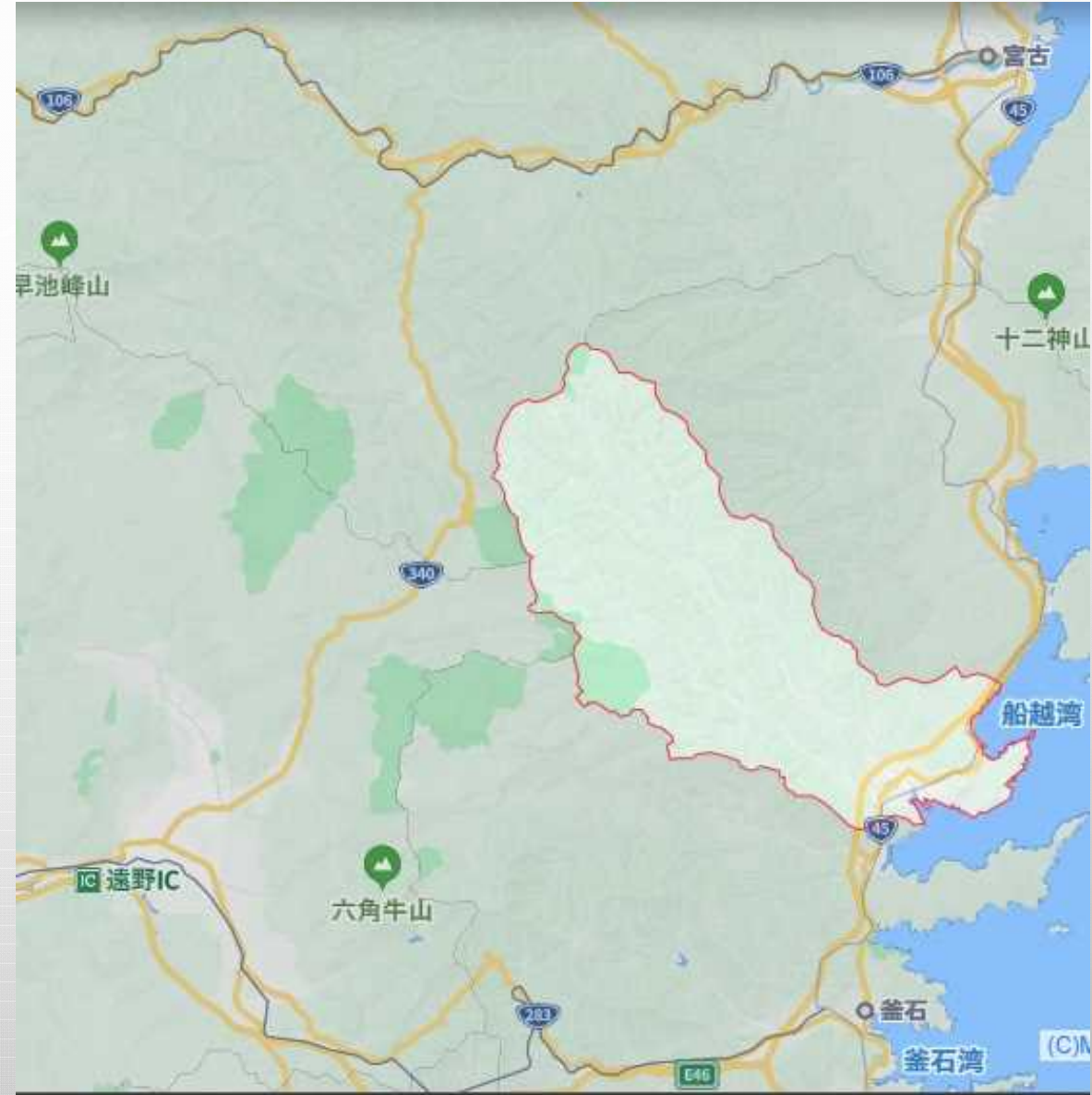
令和5年度釜石地域  
県立病院運営協議会

令和6年2月1日

岩手県立大槌病院  
院長 石川 徹

# 岩手県立大槌病院の概要









# 釜石医療圏 人口40000人

- 人口、釜石市30000人 **大槌町10000人** (令和5年12月)
- 震災前は56000人(4万+**1.6万**)(平成23年)減少率29%
- **大槌町の診療所(開業医)6力所**



# 大槌病院の役割

## 大槌町内唯一の入院施設として

- 高次施設で治療を終えた患者さんが自宅に戻るための調整、リハビリ
- 在宅療養の継続のために一時的な入院（レスパイト入院）
- 最期を町内に戻って
- 大槌町内の医院、施設のバックアップベッド

## 外来診療 高齢者を中心に慢性的な持病の継続治療

- 可能な場合は急性期の治療や検査

## 訪問診療,訪問看護

- 大槌町内や釜石市、山田町などの医療機関、施設との連携

# 地域包括ケア病床 30床

## ・「地域包括ケア病床」

入院治療後、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設での生活に向けての**退院支援**や**リハビリ**を中心に行う

## 「在宅復帰を支援するための病床」

- ・ 60日まで慢性期の状態の患者を入院させておくことが出来る
- ・ 在宅復帰率 70%以上
- ・ 患者には平均2単位以上のリハビリ
- ・ 1単位 = 20分



# 大槌病院の職員 73 名

- 医師 5名 （ 内科4 外科1） + 応援医師
- 看護師 正規 29名 臨時 10名（ 含;看護補助者8名 ）
- 薬剤師 1名 薬剤助手 1名
- 放射線技師 2名、 検査技師 2名 、 リハビリ 3名
- 管理栄養士 1名 調理 5名
- 事務部門 : 正規 5名 臨時 6名
- その他 3名

+ 医療事務、警備、清掃等の委託業者



## 診療体制（応援診療）

- 整形外科；盛岡の開業医の先生方中心に週一回

新患は外科で診察して振り分け 状況に応じて釜石病院等に紹介。

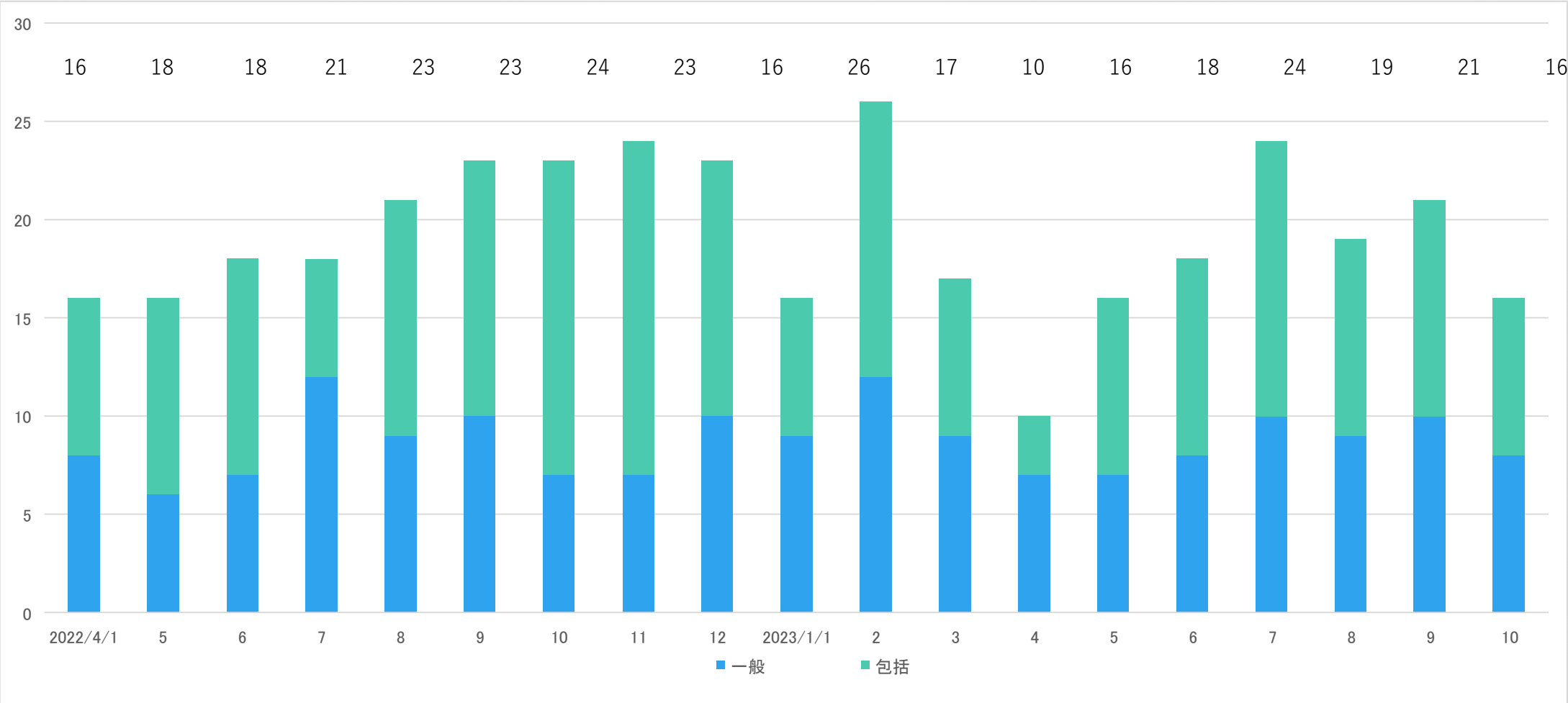
- 皮膚科；月一回 盛岡から開業医の先生
- 眼科；岩手医大から週二回



# 県立釜石病院との相互応援

- 外科 ; 週一回 外来と手術応援 ↔ 釜石から大槌へ週一回 外来応援
- 内科 ; 内視鏡検査 週一回 + 休日検査当番の応援

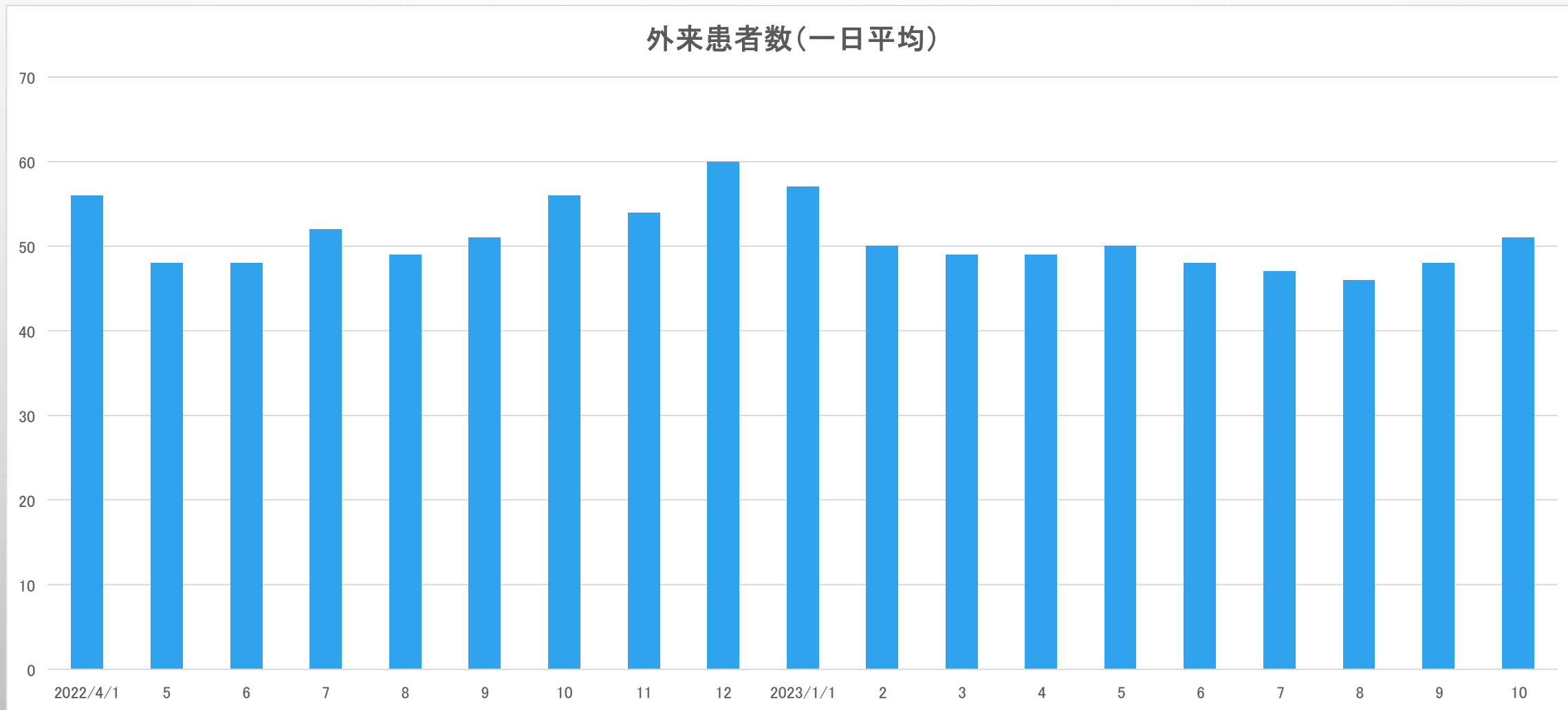
# 入院患者数 19.2人、平均在院日数 18.5日



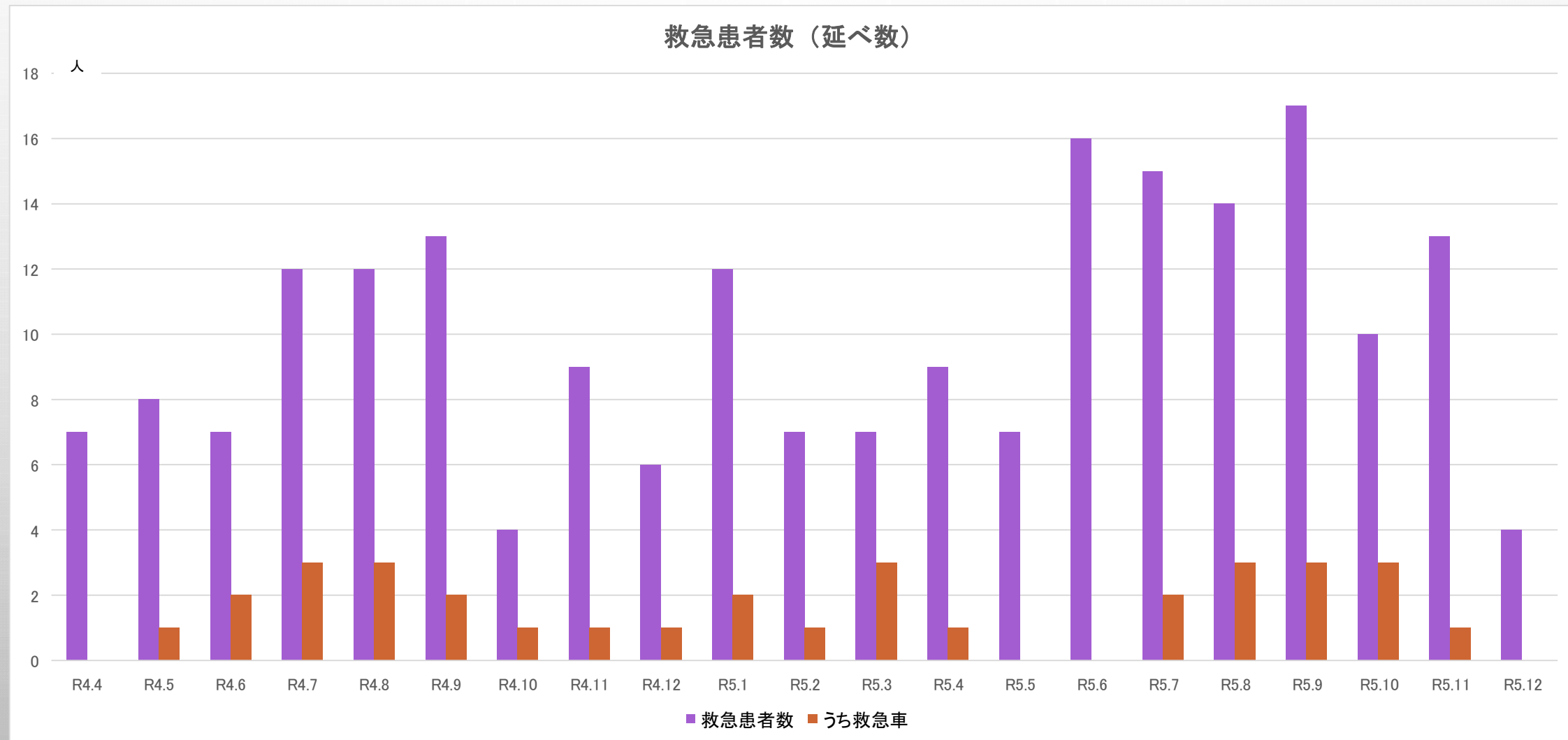


# 外来患者数 51.0人

外来患者数(一日平均)

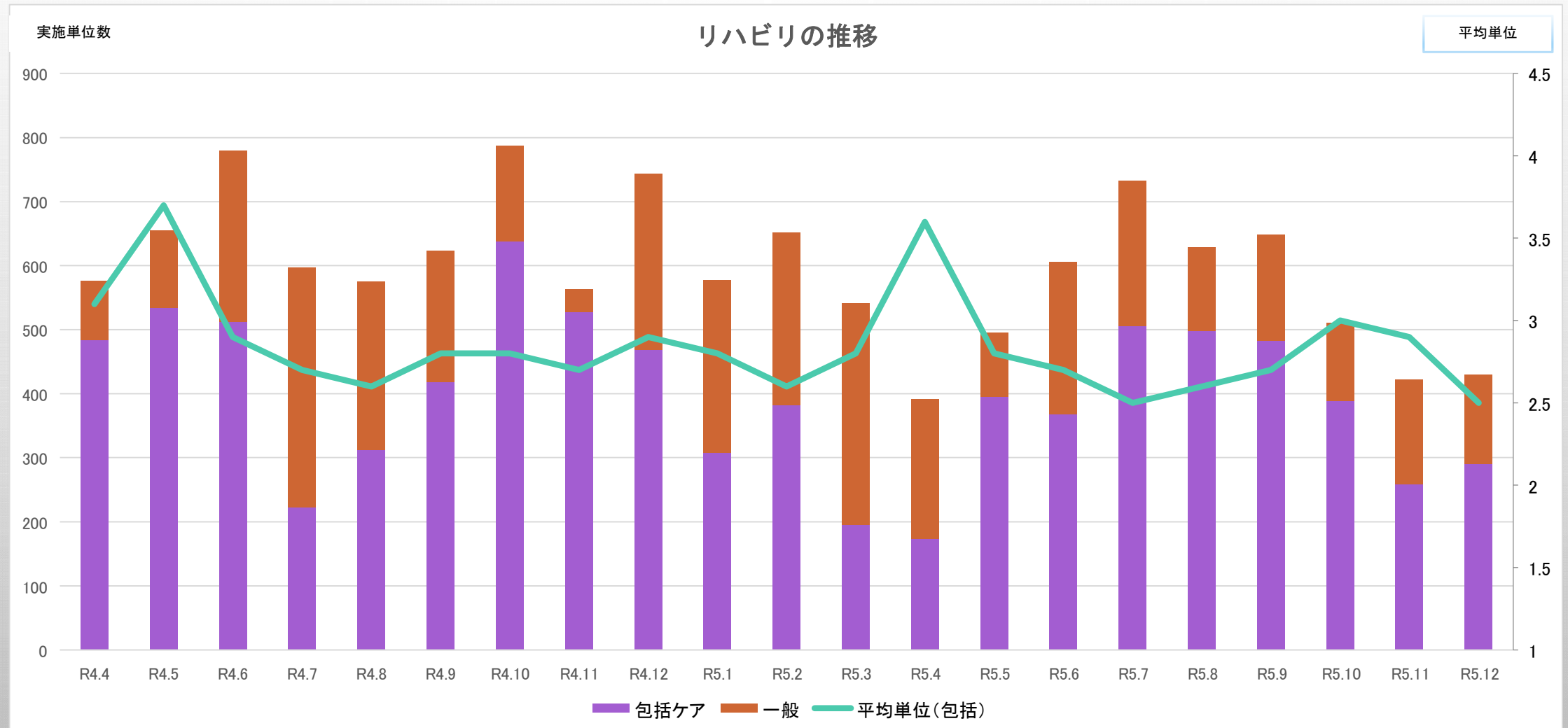


# 救急





# リハビリの推移



# 新型コロナウイルス感染症への対応

- 5類感染症移行後も2床の病床を確保
- 2023年12月までは院内感染の発生は無し



# 今後の課題

## 医師確保

- 医師も高齢化
- 奨学生医師の継続配置

## 患者確保

- 病床利用率の向上